

科目名	実務研修	英語科目名	Internship
開講年度・学期	平成22年度・前期	対象学科・専攻・学年	専攻科複合工学専攻・電子制御工学コース・1年
授業形態	実習	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	学修単位 45h
担当教員	全教員	居室（もしくは所属）	電子制御工学科棟・専攻科棟
電話	0285-20-2256(渡辺)他	E-mail	watanabe★oyama-ct.ac.jp(渡辺)他
授業の達成目標			
<p>企業および研究機関等の研究室・技術開発室・製造工程部署等において、専攻課程で修得した知識の適用方法・研究および技術の実態を、現場担当者の指導の下に実務経験を積ませ、実社会において協調性および創造性のある幅広い開発研究技術者を養成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予め研修先の情報を入手し、基礎及び専門科目の知識を元に十分な研修計画を行えること。 2. 理論の学習および実験を通じて修得した知識と技能を実地に生かすにはどうしたらよいかを学ぶ。 3. 設計や製造現場における工学の適用状況を説明できること。 			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実務研修に関して、あらかじめ基礎、専門科目の知識を元に、十分な研修計画を行っていること。 2. 研修中における研修先の指導者の評価（研修成果・積極性・理解度・職場規律など）。 3. 実務研修の内容を口頭及び文章等で適切に発表できること。 <p>以上3点に関して評価する。1、3は特別研究指導教員、3は特別研究指導教員、他教員2名、計3名で評価する。2は研修先指導者の評価による。</p>			
評価方法			
達成度を点数で評価する。1、3は指導教員が10点満点で、3は他教員2名による計10点満点の評価を行う。この評価に、研修先指導者の評価（満点80点）を加えて100点満点で評価する。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
研修先の指導者に従う。 平成21年度研修先（電子系） ・筑波大学 システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻 ・コマツ エンジン・油機事業本部			
自学自習時間合計			
キーワード	インターンシップ		
教科書	無し		
参考書	各自、自ら調べる。		
小山高専の教育方針①～⑥との対応		⑥	
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A) 技術者に必要な基礎知識と応用力を身につける。 (A-1) 科学や工学の基本的原理や法則の基礎知識を身につけること。 (D) コミュニケーション能力を身につける。 (D-1) 言語の知識を習得すると同時に、語学力や会話力を身につけること。 (D-2) 研究調査や実験の計画を立て、実施し、結果をまとめ、それを口頭で発表して質疑応答ができること。 (D-3) 実社会の中で体験したことについて、自分の考えをまとめて発表、報告することができること。			
JABEE 基準1の(1)との関係		(b)(c)(f)	
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目		本科の全科目	
現学年の関連科目		専攻科1年の全科目	
次年度以降の関連科目		専攻科2年の全科目	
連絡事項			
事前に研修予定企業と打ち合わせを行い、研修の内容を決定する。 研修時期は原則として夏休み期間中とし、2週間（90時間以上）の期間を必要とする。 社会人として企業などに就職する前に、短期間ながら企業の仕事に携わることが出来るので、将来の仕事への適応性などを念頭に置きつつ研修を行うと良い。また、学校とは異なる視点から評価されることから、社会人としての資質などを考える良い機会となろう。（メールは★を@に変えて送信してください）			
シラバス作成年月日	平成22年1月31日		